



まちの話題

園児のもとでカムバック

市にピアノの寄贈

家族の使っていたピアノが不要となったのでお役に立てていただきたく、岩田の増本康弘さんからピアノの寄付の申し出があり、浅江東保育園に贈られました。園では早速、保育活動に活用。ピアノの音色に合わせて、毎日、園児達の元気な歌声が聞こえています。



機敏な動作を披露

第6回消防まつり

第6回消防まつりが11月9日(日)、光地区消防組合消防本部で開かれました。開会に当たって披露されたのは、はしごを使って2階に登った隊員が地上の隊員と息を合わせて被害者を救出する訓練。てきぱきと行われる訓練は、来場者の喝さいを浴びました。

会場内では、市内各消防分団の、趣向を凝らした模擬店や、フリーマーケット、更には消防防災機器の展示なども行われ、フリークライミングやロープ渡りなどのゲームに挑戦する子どもたちも見られました。

市民特派員の



吉規尚美さん
(室積村)

まちがどレポート

もっとお米を食卓に

米粉を使った料理教室

あいばく光で「米粉を使った料理教室」があり、参加してきました。米粉と聞いてもいまひとつピンと来ない私。思いつくメニューは、だんご汁ぐらいだったのですが、今回のメニューは、以外にも洋食「エビドリア」でした。教えていただいたのは、キッチン彩の西田あや子さんです。西田さんが主宰されている教室では、米粉パンコーズを設けられているとのこと。一工夫で、パンやお菓子など、さまざまにメニューに米粉を使うことができるそうです。



エビドリアの作り方ですが、米粉をホ

ワイトソースの小麦粉の代わりに使用しました。牛乳を加えても玉にならず、簡単にホワイトソースが出来るので驚きました。レシビも簡単なものを用意していただいていたので、次は子どもと一緒に作ってみようと思います。



ドリアの他に、野菜サラダを作りました。サラダの野菜は、光市特産品直売パイロットショップで購入したものであること、どれもおいしく新鮮なものばかり。地産地消は、おいしくて、新鮮で、安心安全と、いいこと尽くめです。

国や県・市が米粉の普及に力を入れているのも、日本の食料自給率が40%に満たない状況で、少しでも米の消費拡大を図るため。輸入品を一口控えて、国内産のお米を一口多く食べるだけで、食料自給率アップにつながります。やはり、一人ひとりの心掛けが大切。もう一度お米を見直してみようと考えさせられる良い体験になりました。

